



Meiho Facility Works Ltd.

明豊ファシリティワークス株式会社

BUSINESS REPORT

2026年3月期

2025年4月1日～2026年3月31日



「フェアネス」と「透明性」を貫き、
「お客様側に立つプロフェッショナル」
としてお客様のお役に立つ事。
創業以来変わらぬ当社の基本理念です。

代表取締役社長 **大貫 美**

平素より弊社をお引き立ていただきまして誠にありがとうございます。

弊社は、企業理念である「フェアネス・透明性・お客様側のプロ」を事業の軸とし、独立資本の下、CM（コンストラクション・マネジメント）＝発注者支援サービスをご提供しております。

2025年度は、社会の変化、顧客ニーズの多様化に対して、全社横断型の指揮系統と柔軟なチーム編成によって、スピード感を高めて顧客ニーズに寄り添うことを最優先した結果、より多くのお客様からお引き合いをいただくことができました。

特に公共施設マネジメントやオフィス移転の分野が順調に拡大し、民間企業においては、弊社がCMとして8年に亘ってご支援してきた日本最大の鉄道会社による大規模複合施設が3月にグランドオープンいたしました。

建設コスト上昇や供給力減少といった環境変化の中で、コストの透明性を一層重視されています。CMとして発注者、受注者双方の視点からそれらを紐解き、発注者内部での意思決定の変革をきめ細かく支援する弊社CM事業の役割は益々重要な価値を持つものと考えております。より一層顧客の意思決定を支援するサービスを強化し、明豊のCMの存在価値を高めてまいります。同時に施設管理のDX化を支援することで顧客の価値を高め、より広いCM事業のマーケットを創造してまいります。

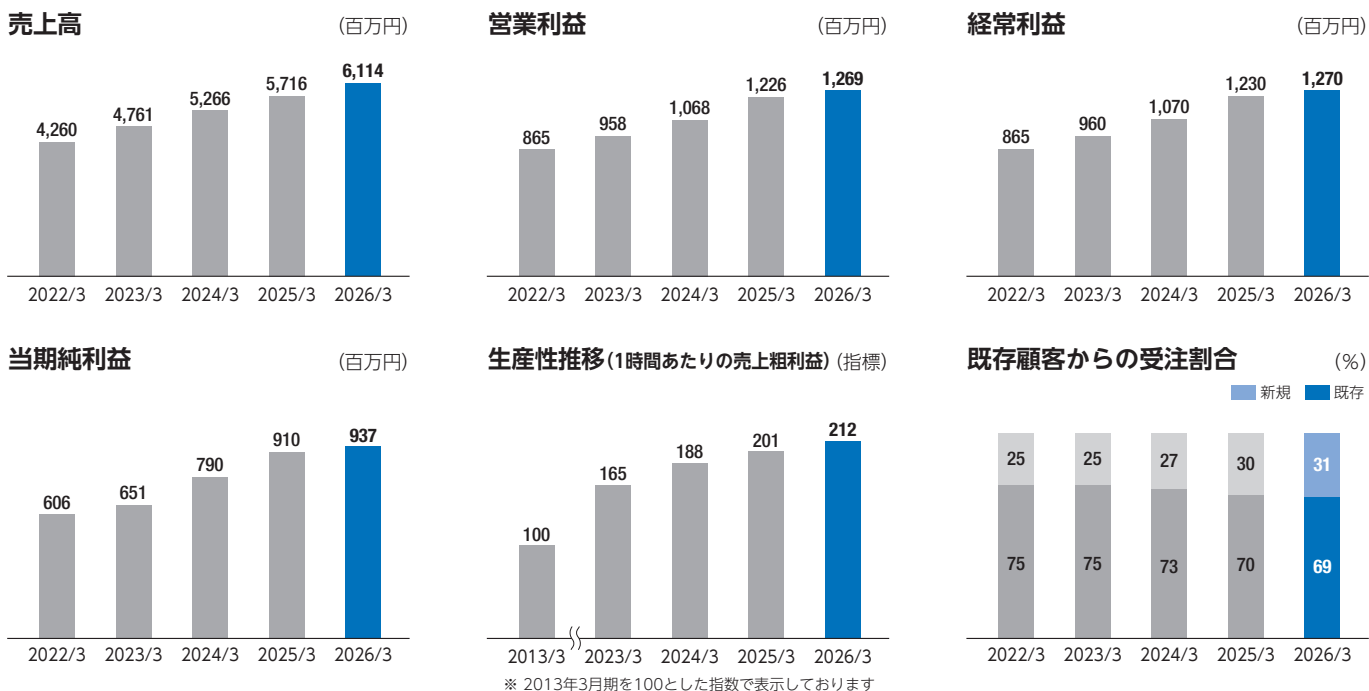
世の中の変化と共に、常に社会から求められるサービスを追求し、事業価値の向上と新たな事業の創造を目指してまいります。今後ともご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2026年6月

決算ハイライト

決算のポイント

2026年3月期は、建設資材コストの高騰、労務費の上昇、人材供給力の不足及び、機器・材料の納期延伸による不透明感、中東情勢による混乱等もあり、発注者単独で建設投資を実行することが難しい状況が続きました。そのような中で当社は、高い専門性をもって個々の建設投資におけるリスクを可視化して発注者の意思決定をきめ細かく支援することに努め、過去最高の実績を実現しました。



2026年3月期の状況と今後の取組みについて

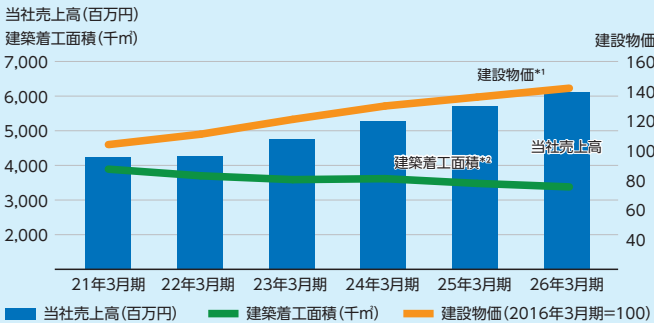
2026年3月期の状況

民間企業の建設投資判断は一時的に慎重となるも、CM(発注者支援)への需要は一層旺盛に

- ・ 建設における構造的な人的供給力の減少と価格上昇によって建設コスト相場が変化
- ・ 建築着工面積が減少傾向の中、公共事業や施設長寿命化、設備更新等、様々な発注者ニーズが活発化しCMへの引き合い高まる
- ・ 民間企業の建設投資判断は慎重となるも、CM(発注者支援)への需要は旺盛

建設マーケットの変化を見据えた当社の対応

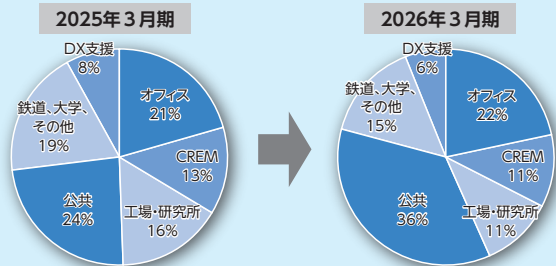
1. 新築プロジェクトに偏ることなく、将来に亘って広い社会的ニーズがあり、当社の価値が求められる公共事業、オフィス移転、設備更新、脱炭素化支援及び既存施設の長寿命化計画策定等へのアプローチを積極化し、新たなニーズを開拓した一年
2. 社会の変化、顧客ニーズの多様化に対して、全社横断型の指揮系統と柔軟なチーム編成によって、スピード感を高めて顧客ニーズに寄り添うことを最優先した結果、顧客との長期的な関係を構築し、基盤が強化された



*1 建設物価：一般社団法人 建設調査会
*2 建築着工面積：建築着工統計調査(非居住用)

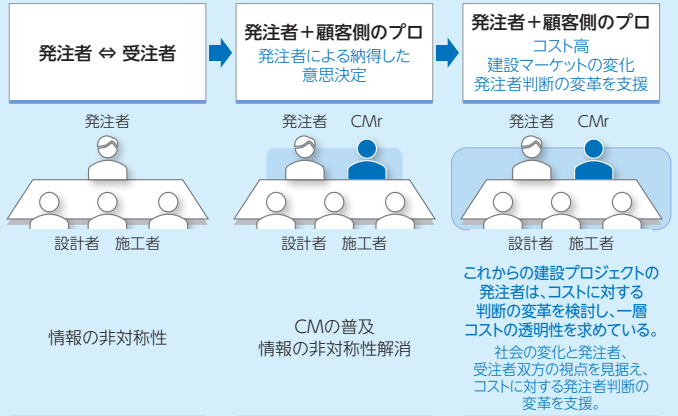
事業分野別受注状況

公共CMを拡大 オフィス、働き方のニーズへ対応

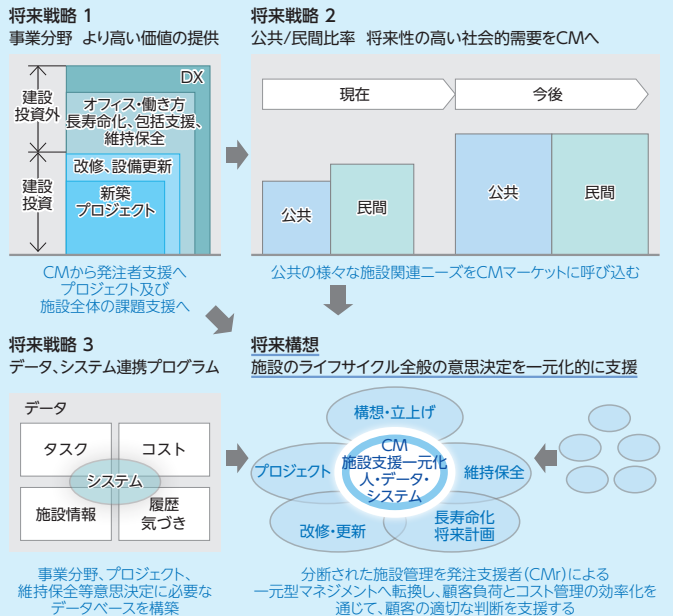


CM発注者支援の役割と今後の取組み

CM発注者支援の役割変化



今後の取組み 発注者支援の新たなマーケット創造にむけた将来戦略



トピックス

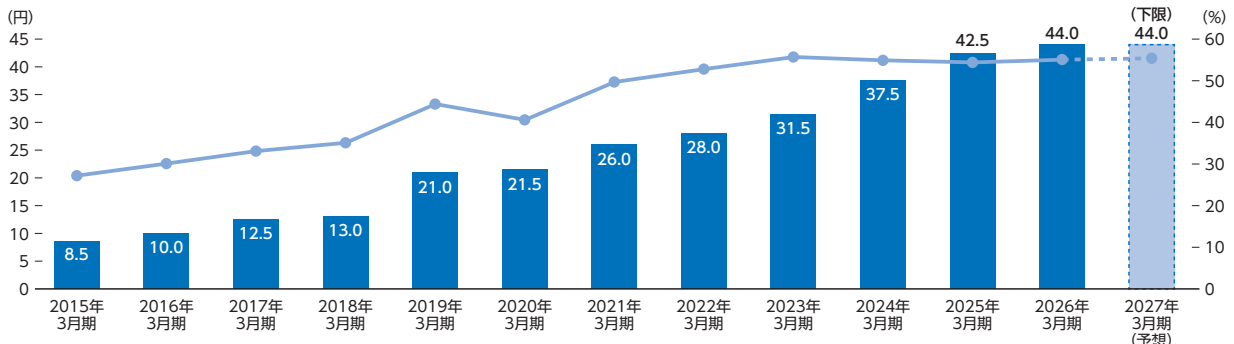
2026年5月12日

株主還元

当社を応援くださる株主の皆様適切な利益還元を行うため、配当方針として、配当性向55%程度とし、年度決算が赤字となった場合を除き、2事業年度(2027年3月期、2028年3月期)の1株当たり配当金の下限を、44円00銭以上と定めております。

1株当たり年間配当金の推移

■ 1株当たり配当金 ● 配当性向



2026年4月

CM選奨2026 特別賞 受賞プロジェクト

長野県箕輪町様 みのわサステナブルエネルギーPGプロジェクト

災害レジリエンスを同時に実現する難易度の高い脱炭素化事業。「ソーラーウィーク2025優秀賞」及び「脱炭素都市づくり大賞特別賞(小規模都市チャレンジモデル)」受賞

プロジェクト概要

■基本計画：費用対効果を徹底的に定量化し、顧客要望の妥当性を客観的に評価

- ・物理的制約条件、法令などを考慮した“プロ視点”で発注者の実現したいことを整理し、時には代替案を示し、実行性のある仕様を提案。
- ・発電事業者と遜色のない高精度の発電シミュレーションを実施。併せて、先駆的な脱炭素技術（蓄電池、自営線）の導入効果を定量化するツールを開発した。

■事業者選定：地元事業者の活用を前提に、プロジェクト実現に必要な事業体制を構築

- ・当時、公共では先例の少なかったPPA方式*による太陽光発電事業者の公募については、事業者サウンディングを通じて事前に情報収集・分析を行いプロポーザル方式による公募を実施、複数社の提案を受けることで好条件による事業を実現した。

* 町が所有する敷地や屋根をPPA事業者に提供し、PPA事業者が設備を設置（初期費用はPPA事業者が負担）。発電された電力を町が消費し、電気料金をPPA事業者を支払う仕組み（契約期間は20年）。

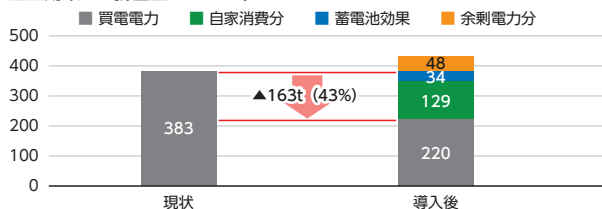
- ・直営工事は設計・施工一括方式による公募を行い、地元建設事業者を含むコンソーシアムの受託を実現。難易度の高い事業にも関わらず不調不落を回避した。

■設計・施工マネジメント：モノ決めスケジュールを管理し、計画通りのデリバリーを実現

- ・機器仕様決定とシステム設計に関して「何をいつまでに協議し決定するか」を詳細に計画、履行状況を丁寧に管理することで、スケジュール通りの運用開始を実現した。
- ・基本計画者として発注者意図を事業者等に確実に伝達し、必要な助言や提案を積極的にを行い、プロジェクトを主体的に牽引する役割を担った。



温室効果ガス排出量 t-CO₂/年



2026年4月

CM選奨2026 受賞プロジェクト

大阪大学・日本財団 感染症センター様



2026年4月

CM選奨2026 受賞プロジェクト

武田薬品工業株式会社様 無菌充填ライン実装プロジェクト

スケジュール特化型プロジェクトコントロール業務

～医薬品生産設備の海外製造、輸入、据付、試運転調整までを支援～

プロジェクト概要

■スケジュール特化型CMIによる「最短稼働」の実現

- ・本プロジェクトの最大の特徴は、医薬品生産設備の発注者直営プロジェクトを「スケジュール加速」に特化して支援した点。海外製造・輸入・据付・試運転までを貫く統合マスタースケジュール管理とクリティカルパス分析を実施。
- ・その結果、フェーズ別で最大52%、全体で約34%の工程加速を実現した。

■海外メーカー×国内分離発注という高難度条件下での調整

- ・海外メーカー9社、国内施工者20社以上が関与する多国間・他主体による高度に複雑なプロジェクト条件下で、サプライヤーのイタリア工場長期滞在、武田薬品の工場常駐、英語によるダイレクトコミュニケーションを通じて、工程分析に基づく納期交渉・スケジュール加速対応を主導。工程延滞リスクの回避・抑制に貢献した。

■建築と一体化した大型無菌設備に対する実装マネジメント

- ・充填ラインは棟の3層構成にまたがり、狭隘空間、相番・3交代シフトでの施工であった。さらに、高度な気密・無菌要件を満たす必要があったため、BIMによる干渉チェックを行い、日割工程による出来高・課題管理を実施した。
- ・加えて、バリデーション工程・文書・人員の同時管理を現場常駐で即時対応。結果として、無事故・無災害での工事完遂と工程の効率化を実現した。



プロジェクト事例紹介

各種施設の建設に係るCM業務

東日本旅客鉄道株式会社様 TAKANAWA GATEWAY CITY / OIMACHI TRACKS 広域品川圏 (Greater Shinagawa) の共創まちづくり

事業概要

- TAKANAWA GATEWAY CITY: 江戸の玄関口としての役割を担った歴史的背景および国内初の鉄道が走った地におけるイノベーションの記憶を継承し、開発コンセプトに「Global Gateway」を掲げ、「100年先の心豊かなくらしのための実験場」として新たなビジネス・文化が生まれ続けるまちづくりに取り組むプロジェクトです。



画像提供: JR東日本

- OIMACHI TRACKS: 開発コンセプトに「都市生活共創拠点」を掲げ、大正時代から続く車両基地や工場が担ってきた鉄道の機能と歴史、そして計画の基幹施設となる歩行者デッキやストリート役割を兼ね合わせた「TRACKS」という名称で、このまちが未来に向けて発展していく道となり、あたらしい価値や文化を生み出していく場になることを目指したプロジェクトです。



当社業務概要

- 当社は、両プロジェクトの設計・工事発注・工事段階のコンストラクションマネジメント業務を担当し、2026年3月のTAKANAWA GATEWAY CITYブランドオープン及びOIMACHI TRACKSまちびらきに向けた支援を行いました。

東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ株式会社様 東北生産・物流センター建設プロジェクト 東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ初のハイブリッド型生産・物流センター

事業概要

- 本施設は2階に生産エリア、1階に物流機能を配置し生産効率を高めることができる東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ初のハイブリッド型の生産・物流センターです。
- 分散していた物流機能を集約することで、リードタイムが短縮され、製品の迅速な提供が可能となります。



当社業務概要と概略フロー

- 2022年7月から本プロジェクトに参画し、発注者のニーズに基づき、技術力と予算において最適な設計施工者選定を支援しました。
- 設計段階では、発注者の要求水準を確実に設計に反映するとともに見積の妥当性を検証しました。
- 施工段階ではコストマネジメントを実施し、プロジェクトを通して根拠に基づくロジカルな見積妥当性検証とコスト協議を重ね、予定工期および事業予算内でのプロジェクト完了に貢献しました。

2022年7月

2026年1月末



SMC株式会社様 SMC Japan Technical Center コンストラクション・マネジメント業務 SMC Japan Technical Center

事業概要

- 旧研究開発拠点であった筑波技術センターを移転・拡張する形で柏の葉エリアに整備するプロジェクト。
- Japan Technical Centerはグループ全体の研究開発の中核拠点となり、世界5カ国の技術センターをつなぐハブとして機能させ、工程を分担し開発のペースを加速。最新の研究設備、優れた環境と快適な施設、交通至便な立地を活かし、研究開発の生産性向上と新たなイノベーションの創出を目指したグローバルフラッグシップ研究開発拠点。
- 社員が健康で快適に働くことのできる「スマートウェルネスオフィス」をコンセプトとし、創造性と生産性を高める環境を整えるほか、世界中からお客様や研究スタッフが集い最先端の技術交流や研究開発力の向上、新たなイノベーションの創出に取り組む施設として整備。



当社業務概要と概略フロー

- 当社は基本計画段階から参画し、設計・施工の各段階において品質・コスト・スケジュールのマネジメントを実施し、適正コスト・予定工期での竣工を支援しました。

2022年4月

2025年9月末



雪印メグミルク株式会社様 本社移転プロジェクト



事業概要

- 2棟に分散していた本社機能を新築テナントビルに集約移転するプロジェクト。
- 移転規模は約3,000坪。オフィスビルの中に大規模なキッチンや大型冷凍コンテナを設置する、技術的に極めて特殊性の高いプロジェクトでした。
- 「Move through the Boundary」をオフィスコンセプトとし、シナジーを促進しやすいオフィス空間を構築しました。

当社業務概要と概略フロー

- 当社はビル選定時の基本構想支援から始まり、基本計画・基本設計・実施設計・マネジメント・調達支援・工事マネジメントまで全フェーズに渡って支援いたしました。

2023年10月
物件選定支援開始

2024年11月
基本設計完了

2025年12月
移転完了



会社概要

(2026年3月31日現在)

会社名	明豊ファシリティワークス株式会社
所在地	本社 〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目7番9号 JA共済ビル6階 TEL：03-5211-0066 大阪支店 〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町三丁目5番13号 本町ガーデンテラス4階 TEL：06-6253-8320
設立	1980年9月12日
資本金	543,404千円
従業員数	271名 ※役員及び契約（常勤）社員等を含む。
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場
事業内容	オフィスビル、庁舎、校舎、駅舎、工場、研究所、医療施設、データセンター等、各種施設及び働き方改革・オフィス移転プロジェクトにおける「コンストラクションマネジメント」及び「プロジェクトマネジメント」サービスの提供。 基本構想策定、基本計画、設計マネジメント、調達支援、コスト検証、施工マネジメント、移転支援まであらゆるステージの様々なニーズに応える総合的ソリューションの提供。

役員

(2026年6月24日現在)

代表取締役会長	坂田 明
代表取締役社長	大貫 美
専務取締役	大島 和男
取締役	村上 富士男
取締役	家崎 武司
社外取締役（監査等委員）	志賀 徹也
社外取締役（監査等委員）	小須田 明子
社外取締役（監査等委員）	土屋 純

ホームページの紹介



<https://www.meiho.co.jp/> または

明豊ファシリティワークス

検索

有資格者 (2026年3月31日現在)

技術士(総合技術監理/電気・電子/衛生工学)	5名	一級施工管理技士(管工事)	24名	情報処理技術者	28名
一級建築士	85名	LEED - AP (LEED認定プロフェッショナル)	2名	ICT実務経験10年以上の者	2名
構造設計一級建築士	2名	WELL AP (WELL認定プロフェッショナル)	2名	AV技術者	1名
設備設計一級建築士	12名	脱炭素アドバイザー(ベーシック/アドバンス)	13名	オフィスセキュリティコーディネータ	3名
CCMJ(認定コンストラクション・マネジャー)	108名	CASBEE建築評価員	48名	医業経営コンサルタント	1名
公共建築工事事品質確保技術者	10名	CFMJ(認定ファシリティマネジャー)	36名	福祉住環境コーディネーター(1級、2級)	9名
建築設備士	20名	特定建築物調査員	13名	宅地建物取引士	9名
電気主任技術者(第2種、第3種)	6名	建築仕上診断技術者	2名	税理士	1名
照明プロフェッショナル、照明士	2名	建築設備診断技術者	10名		
一級施工管理技士(建築)	38名	建築積算士、建築コスト管理士	23名		
一級施工管理技士(土木)	7名	VEリーダー、VEスペシャリスト	25名		
一級施工管理技士(電気工事)	21名	消防設備士	17名		



2020年11月
ZEBプランナー登録

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL：0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：1717）
公告の方法	電子公告により行います。 https://www.meiho.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)



Meiho Facility Works Ltd.

明豊 ファシリティワークス 株式会社

